

インストール前にお読みください

WebFOCUS Version 8.2.06.38 インストール手順

このマニュアルでは、WebFOCUS のインストール・構成のために必要な作業手順を記載しています。
必ずご一読の上、以下手順に従ってインストールを行ってください。

□ インストールモジュールについて

Windows 版のインストールメディア（DVD）と、FTP サイト等で WebFOCUS のモジュールをダウンロードした場合、インストールモジュールは「IBI¥64bit」ディレクトリにすべて含まれております。

インストールモジュールのディレクトリ構成は次の通りです。

```
├─IBI
│  ├─64bit
│  │   ├─Client
│  │   └─Server
│  │       └─patch_8206s
│  └─Manual
├─LM
│  ├─Module
│  │   └─Doc
│  └─Patch
│      └─SC46SP1
└─Readme
```

フォルダ	内容
IBI¥64bit¥Server	WebFOCUS Reporting Server インストールモジュール
IBI¥64bit¥Server¥patch_8206s	Resource Analyzer 日本語パッチ
IBI¥64bit¥Client	WebFOCUS Client インストールモジュール
IBI¥Manual	WebFOCUS インストールガイド、他マニュアル
LM¥Module	ログイン認証モジュールインストールモジュール (部門サーバのみ使用します)
LM¥Module¥doc	ログイン認証モジュールマニュアル
LM¥Patch	ログイン認証モジュールパッチ
LM¥SC46SP1	ログイン認証モジュールサービスパック
Readme	インストール手順、インストール時の追加手順等

※ 上記は Windows 版の場合のディレクトリ構成例です。Linux 版は「Java」ディレクトリが含まれます。(ディレクトリ構成は若干異なります。)

□ Linux 版のインストールメディア（DVD）について

Linux 版のインストールメディア（DVD）をご利用の場合、DVD メディアは 2 枚構成となっており、Reporting Server のインストールモジュールは Kernel バージョンによってそれぞれ別のメディアに格納されます。Linux 版インストールメディアのディレクトリ構成は次の通りです。インストールする Linux 環境の Kernel バージョンにより、使用するメディアを入れ替えてご利用ください。

Kernel-2.6.32 の場合

DISK1 を使用します。

DVD のディレクトリ構成は次の通りです。

```
├── IBI
│   ├── 64bit
│   │   ├── Client
│   │   └── Server
│   │       ├── Kernel-2.6.32
│   │       └── patch_8206s
│   └── Manual
├── JAVA
└── Readme
```

Kernel-3.10.0 の場合

DISK2 を使用します。

DVD のディレクトリ構成は次の通りです。

```
└── IBI
    └── 64bit
        └── Server
            ├── Kernel-3.10.0
            └── patch_8206s
```

□ マニュアルについて

WebFOCUS および WebFOCUS App Studio のインストールガイドは、DVD の「IBI¥Manual」フォルダに格納されています。

リリースノートをはじめ、最新マニュアルについては、AWSC（アシストサポートサイト）からダウンロードしていただくことができます。（PDF ファイル形式）

以下の URL より AWSC にログインし、FAQ から必要なマニュアルをダウンロードしてください。

FAQ のリンク一覧から” WebFOCUS/FOCUS : ”を選択することでマニュアルを検索することができます。

URL : <http://support.ashisuto.co.jp/>

※ マニュアルの内容は、改良のため予告無く変更することがあります。

□ WebFOCUS インストール手順

1. WebFOCUS インストール

『WebFOCUS インストールガイド Version8.2.06』に従って WebFOCUS のインストールを行ってください。
インストールモジュールは、DVD の「IBI¥64bit」ディレクトリに格納され、WebFOCUS Reporting Server は「Server」、WebFOCUS Client は「Client」ディレクトリに格納されています。

2. 通貨記号と日付の日本語表示設定

通貨記号を円で表示、日付を日本語表示にするために「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って設定を追加してください。

3. Unicode 構成 (Unicode 環境で使用する場合のみ)

WebFOCUS(ReportCaster 含む)を Unicode 環境で使用する場合は、「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って Unicode 構成を行ってください。

4. Resource Analyzer 日本語パッチの適用 (Resource Analyzer を使用する場合のみ)

Resource Analyzer をご利用の場合は、「Readme」フォルダの『WebFOCUS インストール時の追加手順 Version8.2.06』に従って日本語パッチの適用を行ってください。

5. 部門サーバの構成 (部門サーバをインストールする場合のみ)

DVD の Readme フォルダに格納されている『部門サーバ・ログイン認証モジュールのインストールについて』、
『部門サーバ・ログイン認証モジュールのサービスパック適用について』に従って、構成を行ってください。

『WebFOCUS リリースノート Version8.2.06』には利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは AWSC (アシストサポートサイト) からダウンロードしていただくことができます。

また、次のページのメンテナンスリリース 8.2.06.38 リリースノートもご一読ください。

メンテナンスリリース 8.2.06.38 リリースノート

BV_NAMESPACE=ON 設定の廃止

バージョン 8.2.01M の新機能として紹介されたビジネスビュープラス（BV+）機能では、シノニム中に論理フォルダ（ビジネスビューフォルダ）を作成しフィールドを管理するために BV_NAMESPACE=ON モードが使用されていましたが、バージョン 8.2.06 でこの設定は廃止されました。バージョン 8.2.06 では、データアシストでシノニムを開くとデフォルトで BV_NAMESPACE=OFF モードが設定され、BV_NAMESPACE=ON モードに変更しなくてもビジネスビューとしての論理フォルダの作成とディメンションビューとしての階層の設定を行うことが可能です。

バージョン 8.2.06 では、上位互換性を維持するため、以前のバージョンの BV_NAMESPACE=ON モードで作成されたシノニムを継続して利用することができますが、JOIN を使用した場合に複数の既知の問題が報告されているため、BV_NAMESPACE=ON モードの利用は推奨しておりません。

<BV_NAMESPACE=ON モードで発生する既知の問題>

非互換・注意点リスト 管理番号	内容
763254	JOIN のホストファイル(親側)に BV_NAMESPACE=ON を指定したビジネスビュー(BV)を使用し、JOIN キーとして一時項目を設定すると（FOC370）エラーが発生します。
764187	Excel ファイルのデータを JOIN し、BV シノニムで「BV_NAMESPACE」が有効になっている状態で、DEFINE 項目を作成しレポートに指定すると FOC003 エラーが発生します。

ブラウザ要件 : Microsoft Edge サポートについて

WebFOCUS の対応ブラウザとして、Microsoft Edge (Chromium)が追加されました。

App Studio の出力ビューアとして Edge を使用することはサポートされません。

以下はメンテナンスリリース 8.2.06.38 でメーカーが動作確認を行ったブラウザバージョンの一覧です。

- Google Chrome Version 94
- Firefox Version 92
- Microsoft Edge (Chromium) Version 89 ※App Studio を除く

メディアに同梱される Java バージョンについて

Linux 版のメンテナンスリリース 8.2.06.38 では OpenJDK Runtime Environment (AdoptOpenJDK) build1.8.0_242-b08 (8u242) が同梱されています。Linux 版は、必要に応じて事前に構成の上ご使用ください。Windows 版のメンテナンスリリース 8.2.06.38 では Java (TM) SE Runtime Environment build1.8.0_241-b26 (8u241) がインストールにより自動構成されます。

メディアに同梱される Tomcat バージョンについて

メンテナンスリリース 8.2.06.38 では Apache Tomcat 8.5.51 が同梱されています。新規導入時は、インストールにより自動構成されます。更新インストールにおいては Tomcat のバージョンアップはされませんので、必要に応じて当該バージョンの Tomcat をインストール、構成の上で使用ください。

ReportCaster Distribution Server の設定情報について

ReportCaster Distribution Server をサービスから起動する場合、メンテナンスリリースの適用にあたって、レジストリの設定情報が初期化されます。レジストリで Java の文字コード、最小ヒープサイズ、最大ヒープサイズ等の設定をしていた場合はパラメータ値を再設定する必要があります。

Distribution Server レジストリ設定情報の編集方法

1. [スタート]メニューをクリックします。
2. [ファイル名を指定して実行]を選択します。
3. [regedit]と入力し[OK]をクリックします。

レジストリエディターが開きます。

4. 以下のキーを展開します。

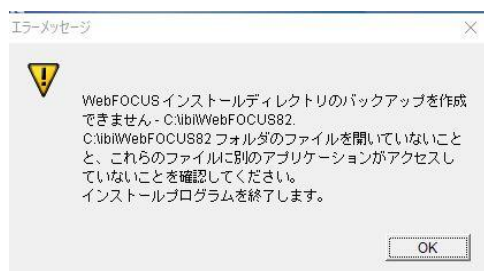
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥InformationBuilders¥
ReportCaster¥WF82¥Parameters¥Java]

5. [Options](文字コード等)、[JvmMs](最小ヒープサイズ)、[JvmMx](最大ヒープサイズ)等のパラメータを右クリック、[修正]を選択します。値を設定し、[OK] をクリックします。
6. Application Server を再起動します。
7. サービスを開き[WebFOCUS ReportCaster WF82]を右クリックし、[開始]を選択します。

Windows 版 WebFOCUS Client 更新インストール時に発生するエラー対応方法について

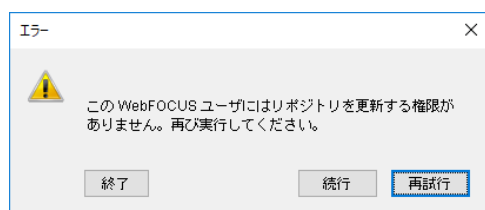
Windows 版の WebFOCUS Client の更新インストール実行中、以下のようなエラーが発生する場合があります。

- 「WebFOCUS インストールディレクトリのバックアップを作成できません」



このエラーは、更新インストール中に WebFOCUS のインストールディレクトリ（ファイル）が他のアプリケーションによって使用されている可能性があります。更新インストールを行う場合は、Application Server（Web サーバ）、WebFOCUS Reporting Server、ReportCaster の各サービスを停止してください。それでも同じエラーが発生する場合は、一度 Windows を再起動して、上記サービスを停止の上、再度更新インストールを実行してください。

- 「この WebFOCUS ユーザにはリポジトリを更新する権限がありません」



WebFOCUS Reporting Server（WebFOCUS Client Self Service）のみのライセンス更新インストールで上記エラーが発生する場合があります。このエラーは、更新インストールで WebFOCUS リポジトリ（Derby）を更新することができないことを意味しますが、Reporting Server のみのライセンスでは、リポジトリの更新は不要のため、「続行」ボタンをクリックして、更新インストールを継続してください。

メンテナンスリリース 8.2.06.38 で修正された問題

メンテナンスリリース 8.2.06.38 では、以下の問題と過去のメンテナンスリリースに含まれる全ての問題が修正されます。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-4515	App Studio	App Studio にて、IbComposer_triggerExecution 関数を使用し、AHTML レポートを実行した場合、正しくフレーム内に表示されず、別タブで表示されてしまうことがあります。
WFTEST-4652	InfoAssist	InfoAssist にて 1 プロシジャ内で複数リクエストを作成する場合、同名の一時項目を作成すると、Web ブラウザが応答なくなり、InfoAssist が起動できなくなります。
WFTEST-4656	InfoAssist	2 つの HOLD ファイルを交互に JOIN して、フィルタを作成すると、InfoAssist がハングアップします。
WFTEST-4708	Reporting Server	PNG 形式で棒グラフを出力すると、X 軸ラベルが 3 つ飛ばしで表示されます。

WFTEST-4711	In-Document Analytics	Analytic Document で、アクティブキャッシュ有効時にエクスポートを行った際、非表示項目(NOPRINT)が出力されません。
WFTEST-4770	Resource Analyzer	Resource Analyzer で、リポジトリロードタイプを[バルクロード]としてログのアーカイブジョップを実行すると、ログのステータスが「エージェントクラッシュ」となり、アーカイブができません。
WFTEST-4900	App Studio	HTML ファイルに配置されたカレンダーコントロールに特定の値を入力できません。入力できる値は範囲指定により異なります。
WFTEST-4920	InfoAssist	旧バージョンの InfoAssist で、JOIN 後の HOLD ファイルを再度 JOIN するプロシジャを作成し、8206.33 にバージョンアップ後の InfoAssist でプロシジャを再保存すると、該当の JOIN が1つに統合されてしまい InfoAssist で開くことができなくなります。
WFTEST-4921	InfoAssist	InfoAssist で、JOIN の親テーブルと HOLD ファイルを JOIN した際に、1 つ目の JOIN の子テーブル側の項目が見つからないエラーが発生します。
WFTEST-4922	InfoAssist	2 つの HOLD ファイルを相互に JOIN 後、HOLD ファイルを編集時 [クエリ] のレポートを右クリックして"編集"を行うと InfoAssist が動かなくなります。

メンテナンスリリース 8.2.06.38 で新たに確認された問題

メンテナンスリリース 8.2.06.38 で確認された新規の問題は以下の通りです。メンテナンスリリースの適用にあたっては影響度を考慮してから適用していただくようお願いいたします。各問題の詳細、およびその他の問題につきましては、AWSC（アシストサポートサイト）からダウンロード可能な「不具合・非互換一覧」もあわせてご参照ください。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-2270	App Studio	[完了待ち] ステータスを使用し、以下の構成で実行完了を感知して JavaScript コールを呼び出そうとしたところ、実行が完了していないにもかかわらず 30 秒ほどで JavaScript コールが呼び出されてしまう。

以上